

平成23年度 多摩区地域課題対応事業 実施結果

I 安全・安心まちづくり事業費	予算額 2,958,000円	決算額 2,806,747円
-----------------	----------------	----------------

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
1-1 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 【地域振興課】	<p>区民・地域、警察、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等に取り組む推進体制を整備し、安全・安心に関する情報の提供、のぼり旗、パトロール用ベスト等の提供、路面標示や立看板等の設置、維持管理等を通じて、区民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進することを目的としている。</p> <p>地域が一体となった地域防犯活動を強化し、犯罪抑止につなげる取組を行う。また、子どもの非行防止と犯罪被害防止の両面からの取組や、女性の犯罪被害を防止する取組を行う。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○パトロール用ベスト、のぼり旗の貸与を通じて、町会・自治会、老人クラブ、PTA等の見守り活動の促進を図った。</p> <p>○多摩警察署スクールサポーター・各小学校と連携し、こどもの非行や万引防止を教育する防犯出前教室を12小学校で延べ16回、2,688人の児童を対象に行った。</p> <p>○子どもを守るための防犯をテーマに多摩防犯セミナーを11月30日に開催し、80人が参加した。</p> <p>○交通安全教室を幼稚園・保育園、小学校で延べ57回、5,708人の園児・児童を対象に実施した。</p> <p>○春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間において道路公園センターと連携して、交通安全及び自転車放置防止の啓発キャンペーンを実施した。</p> <p>○交通安全路面標示を3か所3枚設置し、交通事故防止の注意喚起を行った。</p>	<p>予算額：1,798,000円 決算額：1,654,975円</p>
1-2 市民防災活動支援事業 【地域振興課】	<p>地域住民の防災意識の向上と地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織の育成に努め、防災に関する実践的な講座や救急員養成講座のほか、防災フェアの開催等を通じて、地域の防災力の強化を支援する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○市民救急員養成講座(10月25日、10月27日、11月1日の延べ3日間開催)に、自主防災組織及び区民14人が参加し、災害対応能力の向上を図った。</p> <p>○12月15日開催の防災フェアには420人、同日に開催した防災指導者養成セミナーには205人と多くの区民が参加し、防災意識の向上を啓発することができた。</p> <p>○21か所すべての避難所運営会議にマニュアルのひな形を配布し、マニュアル整備の支援を行った。昨年度まで整備完了は6か所だったが、今年度は12か所で整備完了となり、合計で18か所となる。未整備の3か所については、平成24年度中に整備の予定。</p> <p>○稲田中学校、枳形中学校、南菅小学校、南生田小学校、南生田中学校の5つの避難所運営会議において、避難所開設訓練が実施され、地域内の各自主防災組織間の連携及び、災害時の避難所の管理運営能力の向上が図られた。</p>	<p>予算額：823,000円 決算額：818,361円</p>
1-3 まちなか交通安全教室開催事業 【地域振興課】	<p>スタントマンが自転車対自動車の交通事故等を再現、観覧者の視覚に恐怖感を訴えることで事故を疑似体験させる「スケアード・ストレート方式」の交通安全教室を開催し、粗暴な自転車利用がいかに危険かを理解してもらい、安全な乗り方の認識を徹底する。</p> <p>■事業対象：区内高校生徒、区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区交通安全対策協議会 ■開始時期：平成23年度(新規事業)</p>	<p>12月19日、県立百合丘高校校庭にて実施。1年生320名、近隣住民60名受講。県立生田高校からも20名の生徒が受講。</p> <p>スタントマンにより自転車対自動車の交通事故を再現することで、講話形式の交通安全教室よりもインパクトがあり、交通事故の衝撃は伝えられた。アンケート上ではあるが、受講者の意識にも受講前後で変化が見られ、今後の交通事故防止の一助になるものと思われる。</p>	<p>予算額：337,000円 決算額：333,411円</p>

Ⅱ 地域福祉・健康づくり事業費

予算額 870,000円

決算額 784,270円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
2-1 「パサージュ・たま」開催事業 【地域保健福祉課】	障害福祉に関する理解と関心を深めるために、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催している。障害に関する活動をしている団体・作業所等が運営を担当し、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を行っている。また、広報については、区ホームページやチラシ等により開催日を周知し広く参加を呼びかけている。 ■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	多摩区役所アトリウムにて11回開催。多数の団体が参加し、毎回盛況となっている。区役所アトリウムにて「パサージュ・たま」を実施することは、障害福祉に関する普及啓発の一環として有効である。同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解しあうことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。「パサージュ・たま」は、区民の多くが利用する区役所総合庁舎のアトリウムという通路上の性質を有効に利用し、障害者自身と多くの人々が直接関わりあえる場を提供している。また、定期的を実施することで、区民に対する周知も図られ、「パサージュ・たま」を目的に来庁される方もいる。	予算額：116,000円 決算額：104,899円
2-2 健康づくり推進事業 【地域保健福祉課】	多摩区の特徴を生かした場所、もの等により幅広い世代が交流し、食に対して、また健康づくりに対しての普及啓発を目的とする。 ○体験イベント2回実施（多摩区健康フェスタ2011、食育イベント） ○区民向けの講演会1回実施 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	○区民に対し健康や食育に関する情報を発信する場として、健康フェスタを8月～9月に実施。福祉や健康に関する市民団体の交流や報告を兼ねたパネル展示や活動報告会、健康相談、体力測定等を実施。「災害にも負けない健康づくり」をテーマに地域のネットワークを考える機会とした。延べ2,131名参加。 ○区民向け講演会および食育交流会を10月実施。54名参加。併せて食育取組事例集を作成配布、食育パネル展示を行った。 ○地産地消体験イベント「食育の秋 in よみうりランド～里芋掘りと芋煮会～」を10月実施。親子23組61名参加。JAセレサ川崎菅支店、よみうりランド、農家ボランティアと協働で実施。食生活改善推進員・JAセレサ女性部・ウオーキング推進委員・農家の方々の協力を得た。	予算額：366,000円 決算額：321,517円
2-3 精神保健普及啓発事業 【保健福祉サービス課】	多摩区精神保健福祉に関する課題の解決に向けて、地域が抱える問題をテーマにした講演会を開催するなどして、精神保健福祉の普及啓発を進めていく。また、支援者に対して学習会等を実施し、支援技術の底上げを目指す。さらに、多摩区精神保健福祉に携わる関係機関のネットワークの一層の構築にも取り組んでいく。 ■事業対象：区内の精神障害者とその支援者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区精神保健福祉連絡協議会 ■開始時期：平成23年度（新規事業）	2回の講演会（8月及び2月）及び4回の精神保健福祉連絡会議（うち1回は委員向けの学習会）を実施。 平成23年3月11日の東日本大震災を受け、災害をテーマに取り組んだ。精神保健の支援者向けの講演会（8月「被災地での支援実態」）の実施及び行政の災害への取り組みについての学習会の実施により、関係機関との連携を強化することができた。さらに、精神保健福祉についての普及啓発を図るため、市民及び支援者向けの講演会（2月「大災害のこころの支援について考える」）を実施した。	予算額：93,000円 決算額：63,854円
2-4 体育指導委員スキルアップ事業 【地域振興課】	体育指導委員が各担当区域（7地区①菅②中野島③登戸④宿河原・堰・長尾⑤生田東⑥生田北⑦生田南）で健康づくりの推進役として活躍できるよう、指導技術のスキルアップを行うとともに習得した技術の還元を図る。 ■事業対象：体育指導委員（現名称：スポーツ推進委員） ■事業形態：全部委託 ■実施主体：学校法人聖マリアンナ医科大学 ■開始時期：平成19年度	体育指導委員（現名称：スポーツ推進委員）を対象に、専門的知識・技術を身につけるため、聖マリアンナ式筋力アップ体操を区役所・生田出張所で各2回実施することで、地域に貢献するための健康づくりに対する理解、技術の向上を図ることができた。 また、9月に実施した区民体力テストの集いにおいて、習得した知識・技術を参加者向けに指導することができた。	予算額：295,000円 決算額：294,000円

Ⅲ 総合的こども支援事業費

予算額 12,642,000円 (当初予算額 12,526,000円)

決算額 11,705,471円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
3-1 多摩区こども総合支援連携会議事業 【こども支援室】	多摩区こども支援基本方針（たまっこプラン）に基づき、関連する団体・機関・行政のネットワークを活かした地域子育て支援を推進する。 ○連携会議3回を実施 ○事業実施のためのワークショップを1回開催 ○区役所1階アトリウムでの活動紹介 ○区内の子育て支援事業の進行管理の実施 ■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体・グループ ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成17年度	連携会議及びワークショップの他、地域の子育て支援事業の実施状況として区内で行われている取組の進行管理表を活用し、各団体・機関の活動状況の共有を図った。この取組により、子育て支援活動の状況・方法・意義、次世代を育成する意義、支援者養成の意義、活動の中で抱える課題、及び協力しあえる活動などについて共通認識を図れ、協議をより一層深められた。	予算額：1,229,000円 決算額：1,149,173円
3-2 多摩区幼・保・小連携事業 【こども支援室】	発達の連続性をふまえた子どもの育ちや一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育園・小学校が連携を図り、情報交換や保育実習研修等を実施し支援体制作りを進める。 連絡会や交流事業を通し、幼稚園、保育園、及び小学校の教職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進める。 ■事業対象：区内の幼稚園・保育園・小学校 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成18年度	○授業参観・懇談会、行事参観（職員） 延べ387名参加 ○代表者連絡会 5月13日 ○実務担当者連絡会 6月27日、1月19日（2回とも全施設から80%の参加） ○園長校長連絡会 2月24日 ○保育園実習（5校17名）、幼稚園参観（2校2名）夏期休業中実施 ○園児・児童交流実施 ○就学时健診時にチラシを配布 幼稚園・保育園・小学校連携事業実施要綱を見直し・改訂。参加対象を区内の全ての幼稚園・保育園・小学校（小規模保育園、私立小学校を含む70施設）とし事業を実施中であり、地域における連携のさらなる充実を図ることができる。 小学校教諭の幼稚園実習研修では保育園実習研修同様に就学前の子どもの理解や教育・保育内容の理解などを深める機会となった。	予算額：223,000円 決算額：165,334円
3-3 こども・子育て普及啓発事業 【こども支援室】	子育て支援者を対象とした各種研修や、地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、親を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を実施するほか、多摩区こども総合支援連携会議等で出された地域課題をテーマにした事業等を実施する。 ■事業対象：区内の親子・子どもに関わる機関 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成20年度	○「発達に特性がある子どもの理解とサポート」 152名参加 ○「現場の困り感に寄り添うスキルアップ研修」 50名参加 ○「愛されて育つ子どものこころ」 59名参加 ○多摩市民館と協力開催講演会「ねえぼくの気持ちわかってよ」 59名参加 関係機関・団体等の連携やネットワークの場で区の課題としてあげられたテーマへの対応を行うことで、課題の顕在化、共有化及びネットワーク間のさらなる連携協力への一助となり、より効果的に事業計画実施が行われた。発達障害に関するテーマは年々ニーズの高まりが増し、保護者をはじめ、関係機関に携わる人の申込が多く、次回開催についての要望も継続的に出されている。参加者レベルに合わせた専門の研修講師依頼をすることで課題対応に効果的である。	予算額：293,000円 決算額：273,606円
3-4 親と子の集いの場づくり事業 【こども支援室】	家庭で保育している親子を主な対象に、楽しく集い遊ぶ場の提供やこどもが安全に遊べる環境整備を、地域の子育て支援者等と協働で実施する。育児不安やストレスの軽減及び親同士の交流を図るとともに、地域の子育て支援環境の充実の一助とする。 ○多摩区「ママとあそぼうパパもね」事業 ○多摩区子育て安全マット・玩具貸し出し事業 ■事業対象：区内における乳幼児と保護者 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成19年度	平成23年度年間計画に基づき、4会場にて各会場10回ずつ「親と子の集い」を開催した。年間2,984名の参加があった。また、「たまたま子育てまつり」参加や「交通安全教室」、「親子ミニコンサート」等も実施した。 地域の子育て支援団体との協議も活発に行い、会場提供や運営スタッフ等地域との協働が機能し、参加者増等事業の成果へとつながっている。また、多くの参加者からは、この事業に対して評価を得ている。参加人数増からも分るように区内親子のニーズは高まっており、さらなる事業の拡充が求められている状況である。 そのほか、本事業に対しての参加者の声を生かすため、アンケートを行い、地域支援担当者会議に反映させ次年度の内容につなげた。	予算額：549,000円 決算額：507,414円

<p>3-5 多摩区「親と子の育児園」事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>0歳から3歳までの家庭で保育している親と子を対象に、育児や父親参加等、子育てについての学習、相談、交流の機会を提供し、子育て力を養う。また、虐待予防施策の一助として地域の資源活用及び支援ネットワークへつなげる機会とする。</p> <p>■事業対象：区内のこども（3歳まで）と保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：NPO法人ままとんきっず ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○「親と子の育児園」を5月から2月の土曜日午前に年間18回開催した。年齢別3クラスに60組公募。クラス別に、遊び、工作、育児に関する学習等を実施した。 ○一般区民向けに公開講座を1回実施した。 ○子育てに関する情報提供を行った。</p> <p>学習を積む他、保護者同士の交流も深まっている。毎回、父親の参加も多く交流を深めた。</p>	<p>予算額：1,635,000円 決算額：1,634,454円</p>
<p>3-6 親育て・子育て支援者養成事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>育児不安や虐待予防に対応するため、学習や実習の場を提供し、併せてさまざまな世代による育児状況の経験交流等により、現状の理解や実践力を養い、地域における子育て支援者を養成する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：NPO法人ままとんきっず ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○6月から11月にわたり、基礎講座、養成講座、実習を取り混ぜ、全16回の講座を実施した。（実習は6回実施。計20名参加） ○地域支援の活動紹介やボランティア活動をテーマに交流会を2回実施した。 ○子育て中の方、子育て支援に関心のある方を公募し、学習とあわせて、人材活用や派遣支援の情報提供を行った。</p> <p>最終日参加者の修了後アンケートから、講義内容については支援者としての立場の学習、子どもの遊び、ワークショップ、救急法などが好評であった。現在活動をしている者4名、活動を希望する者6名、今後検討したい者5名であった。（回答は複数回答） 平成20年度から行っている講座の受講者対象のアンケートを行いプログラムの検討を行った。</p>	<p>予算額：997,000円 決算額：979,842円</p>
<p>3-7 多摩区子育て支援パスポート事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多摩区商店街連合会との協働により、区内の妊娠中から18歳未満の子どもがいる家庭を対象に、経済的負担の軽減を図り、声かけ・見守りによる地域でのコミュニケーションを高め、子育てを地域社会が一体となって支援する。具体的には、パスポートカードを協賛店に提示することで、店独自のサービスの提供を受けたりイベントの実施とともに商店街の活性化を図る。</p> <p>■事業対象：妊婦及び0歳から18歳までの子どもを持つ家庭 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区商店街連合会 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○パスポートの発行などを継続的に実施 739枚発行 ○ホームページに掲載する協賛店を取材し掲載 14店舗 ○たまたま子育てまつりに関して商店街連合会と協力して抽選会を実施 500人参加</p>	<p>予算額：725,000円 決算額：724,631円</p>
<p>3-8 多摩区こども総合支援に係る情報収集・発信事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>地域子育て情報の収集及び発信を行う。</p> <p>○「多摩区子育て情報ブック」の作成 妊娠期～就学前後を対象に、支援制度や地域・民間情報等を冊子で紹介。</p> <p>○ホームページの更新・バージョンアップ ①「子育てカレンダー」の更新。主に乳幼児期対象の地域の催し情報を集約し、カレンダー形式で紹介。 ②「子育てWEB」の更新及び内容拡充。妊娠～青少年期まで、子ども・子育てに係る制度や地域情報を体系的に紹介。</p> <p>○地域子育て支援活動・事業の広報及び交流支援 地域の子育て団体や支援活動の広報面での支援を行う。</p> <p>■事業対象：区内の妊婦～子どもを持つ家庭 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○子育て情報ブックを内容拡充（多摩区の子育て支援、地域別マップ等）のうえ、5,000部発行し、母子手帳交付時や区内に転入してきた乳幼児を持つ家庭に配布し、地域の子育て情報を伝えた。 ○子ども・子育て支援の制度や地域情報を体系的に紹介するホームページを通して、年間を通して20回程度の情報更新を行い、新しい情報を随時提供した。（そのほかバージョンアップ年1回） ○子育てサークル等地域の身近な子ども・子育て情報をちらしコーナーで掲示し、健診に来庁した親子等に情報を提供した。</p>	<p>予算額：1,911,000円 決算額：1,421,217円</p>

<p>3-9 多摩区こどもの外遊び事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>第1期多摩区区民会議の審議結果を受けて、生活環境や家族のあり方、ライフスタイルの変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を推進し、子どもの知育や子育てを楽しむ場を地域で展開していく。</p> <p>■事業対象：区内の子どもと保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区こどもの外遊び委員会 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○こどもの外遊び委員会のみでなく、他団体や関係機関やボランティア等と共に、外遊び事業を5回実施。(参加延べ人数2,552名) ○リーフレットの作成、大人の体験講習&交流会の実施</p> <p>町内会や地域の他団体の協力を得て地域密着型の外遊びを実施し、世代間交流も積極的に行われた。また、昨年度までの「こどもの外遊び実行委員会」は、区が中心的に運営実施する形から、地域の人々が推進していく形へと移行するとともに、名称も「こどもの外遊び委員会」と変更し、地域主体型に向けて、リーフレットの作成と配布、さらに大人向けの交流会などを実施した。</p>	<p>予算額：979,000円 決算額：961,524円</p>
<p>3-10 幼児の発達支援事業</p> <p>【保健福祉サービス課】</p>	<p>「ことばが遅い」「多動」「こだわりが強い」など、精神及び社会性の発達に関する不安や育てにくさを感じている幼児と保護者に対し、子どもの発達を促す支援と保護者の育児不安及び育児負担の軽減を図るよう支援する。</p> <p>■事業対象：児の療育に困難さや心配を抱えている親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保健福祉サービス課 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○1歳6か月児健康診査後のフォロー教室 年12回実施 ○3歳児健康診査後のフォロー教室 年12回実施 ○3歳児健康診査併設の心理相談員による個別相談 年36回実施</p> <p>心理職・言語聴覚士・保育士・体育指導員・保健師が多方面から関わり、集団遊びの体験や親同士の交流、個別相談を実施し、育児不安の軽減や親が子どもの発達を理解し、その子にあった対応ができるよう支援することができた。 3歳児健診は保健福祉センターで実施する最後の健診である。3歳児は精神の著明な発達が認められる時期であると同時に個人差が顕著に現れる時期でもある。発達の遅れが認められる場合、保護者がその成長をどのように受け止めているが十分認識し、慎重に療育へと促すために心理相談員による個別相談を実施した。 発達の偏りから育てにくさや児との関わりにくさがある場合、虐待のリスクが高い。この事業を実施し、支援することで虐待予防に繋げることができた。</p>	<p>予算額：1,665,000円 決算額：1,646,437円</p>
<p>3-11 生きがいと楽しさを持つ子育て交流支援事業</p> <p>【保健福祉サービス課】</p>	<p>地域のボランティアと共に、子育て中の親子が気軽に集まれる場を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験するとともに親子の交流や地域の方との交流を推進する。</p> <p>区役所で実施する各種乳幼児健診・相談、予防接種を、親子共に安心・安全に受診できるようにサポート体制を整え、相談の充実を図る。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保健福祉サービス課、区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○地域サロン(4か所) 延べ40回 ○育児支援グループ(3か所) 延べ26回 ○各種健診 延べ144回 ○育児相談 延べ12回 ○予防接種10回に保育士及びボランティアを配置した。</p> <p>地域サロンや育児支援グループにおいては、保育士やボランティアと交流することで、参加者が子育てに必要な地域情報を得ることができたり、子育てを楽しんでいると感じる経験を重ねることで、育児不安や育児負担感の軽減を図ったりすることができた。 保育士やボランティアを配置することにより、各種健診・相談、予防接種事業において子どもの安全の確保と相談の充実が図られた。母子保健事業の目的である乳幼児及び保護者の健康の保持増進に寄与することができた。</p>	<p>予算額：1,433,000円 決算額：1,343,399円</p>
<p>3-12 たまたま子育てまつり開催事業</p> <p>【生涯学習支援課】</p>	<p>多摩区で安心して子育てができる地域の環境づくりを進め、子育て支援団体・市民グループ・関係行政機関が協働により情報ひろば・親子で遊べる機会・子育て相談・子育てサークルの活動紹介などの多彩な情報提供を行うとともに、区民の交流できる場を総合的に提供する。</p> <p>また、「おまつり」だけで終わることなく、「子育てに関する講演会」を別途開催し、保護者に子育ての諸問題を考えてもらう学習機会を設定する。</p> <p>■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○たまたま子育てまつり 日程：9月18日(日) 参加者数：4,700名 ○たまたま子育てまつり講演会 日程：11月23日(祝) 参加者数：22名</p> <p>来場者と参加市民グループとの交流の場や子育てに関する情報・子どもとともに遊べる楽しく過ごせる場の提供などにより総合的な子育てに関する学習支援を図ることができた。この子育てまつりも定着し、毎年実施しているその成果は多摩区の子育て支援に大きく貢献している。</p>	<p>予算額：567,000円 決算額：535,500円</p>
<p>3-13 学校教育ボランティアによる学校サポート事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>大学のもつ知的資源や人材を活用して、学生ボランティア派遣による学校サポートシステムを構築することで、多摩区内の公立保育園・私立幼稚園・公立小中学校の教育環境向上を支援する。</p> <p>■事業対象：区内の公立保育園・小中学校、私立幼稚園 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：学校法人日本女子大学 ■開始時期：平成23年度(新規事業)</p>	<p>○学生ボランティア人数：73名 ○派遣施設：小中学校21校、幼稚園・保育園5園</p> <p>学生ボランティアへの経費支援を行い、事業目標である区内全小中学校への派遣を達成した。ボランティアの活動内容や派遣実態について、大学と学校長との意見交換・協議を行い、事業目的の共有化を図った。</p>	<p>予算額：320,000円 決算額：320,000円</p>

<p>3-0 公立保育所の地域支援推進事業</p> <p style="text-align: center;">【こども支援室】</p>	<p>○保育体験 親子でカリキュラムに基づいた保育を体験する。</p> <p>○子どもの発達に関する相談 子どもの発達の不安に対し、各園の発達支援コーディネーターが中心になり相談や助言、指導を行う。</p> <p>○プール開放・水遊びの提供 親子でプール遊びや年齢に見合った水遊びを体験する。</p> <p>○行事支援 認可保育所が運動会等をするために公立保育所等を活用し園児同士の交流も行う。</p> <p>○交流研修 認可保育所と認可外保育所の保育士が、保育所保育指針に基づいた公立保育所の保育を見学し、園長の講話や職員同士の意見交換を行う。</p> <p>○認可・認可外保育所との交流 認可保育所と認可外保育所の園児と職員が公立保育所の保育と一緒に体験をし、人材育成を図っていく。そのため、区内保育所職員のスキルアップを図るための研修を行う。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子、認可保育所と認可外保育所の保育士・園児、保育所職員</p> <p>■事業形態：直営、緊急対応事業</p> <p>■実施主体：区役所こども支援質</p> <p>■開始時期：平成23年度（新規事業）</p>	<p>○保育体験（食事提供）は14組の親子が参加</p> <p>○交流研修は10園が参加</p> <p>○区内保育所職員研修は、3月5日に実施し、130名が参加</p> <p>平成23年度から始めた事業であるが、保育体験をはじめ、各種支援は地域の親の子育て力につながっている。</p> <p>また、民間保育所との交流研修は、実際に保育実践が見られ理論的な分野も勉強でき、民間保育士の保育の質及び公立保育所の民間保育所への支援や適切な指導の力につながっている。</p>	<p>予算額：116,000円 当初予算額：0円 (緊急対応経費から 流用：116,000円)</p> <p>決算額：42,940円</p>
---	--	---	--

IV 環境まちづくり事業費

予算額 484,000円

決算額 428,127円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
4-1 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略関連事業 【企画課】	地球温暖化防止に向けた施策として、イベント等でリユース食器を利用し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を基本とした循環型社会の実現に向けた取組などを行う。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成21年度	区役所施設における緑のカーテン大作戦や生田緑地サマーミュージアムでのリユース食器による3Rの取組について、市民活動団体との協働により実施し、CCの取組を区民にPRすることができた。 また、区役所職員による「一人一エコ運動」の実施により、区役所全体でのCCに関する取組や意識を推進することができた。 区役所庁舎前での打ち水を、区内中学校の生徒の参加により実施した。	予算額：255,000円 決算額：199,252円
4-2 水辺の愛護活動事業 【地域振興課】	憩える緑豊かな水辺づくりの観点から市内河川の6割を越える水郷という地域特性を守り育み、区民の環境愛護活動を推進するため、町内会や商店街、子ども会、市民団体、学校等の参加を得て河川沿いの清掃活動を協働で実施する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度	9月25日（日）に二ヶ領用水宿河原線及び上河原線の清掃活動を実施。参加人数：約700人。 二ヶ領用水宿河原線の清掃活動については、昨年度同様に近隣町内会・各種団体と連携し、市内統一美化活動日に合わせて実施した。 また、今年度は、二ヶ領用水上河原線の清掃活動についても、近隣町内会と連携・調整により実施し、より良い水辺の環境を守っていくための愛護活動を推進することができた。	予算額：229,000円 決算額：228,875円

V 地域資源活用事業費

予算額 26,783,000円 (当初予算額 25,289,000円)

決算額 25,630,656円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
5-1 観光振興・タウンセールス推進事業 【地域振興課】	<p>多摩区を、豊かな自然や文化財と身近で触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、川崎市のイメージアップを図るとともに、観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携・連帯し、多摩区の魅力を市内外に積極的にアピールしながら、集客力の向上、交流人口の増加につなげる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民、近郊都市住民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区観光推進協議会 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○戦略観光ポスター、各種観光ポスターの作成 ○地域情報誌とのタイアップによる区内の魅力発掘、情報発信 ○多摩区観光情報HPの整備・情報更新 ○観光ガイドマップ・ガイドブックの作成 ○登戸ペDESTリアンデッキバナー掲示による広報 ○区民参加型イベント「多摩川梨を楽しもう」の開催 9月10日 ○都市間交流事業（千葉県南房総市、静岡県藤枝市）</p> <p>区内外に地域の魅力をPRするため、観光ガイドマップや観光情報ホームページの整備といった広報活動や、地域のイベントや行事への出展・広報支援といったキャンペーン活動を実施した。また、今後の観光施策の事業検討の一助とするため、藤子・F・不二雄ミュージアムの来訪者アンケート調査を実施した。 本事業の担い手となる多摩区観光推進協議会との連携体制を強化し、区民の発意やアイデアを取り入れ、区民主体による事業展開を図った。</p>	<p>予算額：8,468,000円 当初予算額： 7,471,000円 (緊急対応経費から 流用：997,000円) 決算額：8,468,000円</p>
5-2 「音楽のまち・かわさき」多摩区事業 【地域振興課】	<p>市の施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進するため、区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供するとともに、併せて多摩区の魅力をアピールすることを目的として音楽事業を実施し、さらなる地域の文化環境の向上と意識の醸成を目指す。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成16年度</p>	<p>○たまアトリウムコンサート 奇数月の第3水曜開催、全6回、各回来場者120人 ○第7回多摩川夕涼みコンサート 8月21日、来場者200人 ○第1回たま音楽祭 12月3日、来場者1,200人。</p> <p>各種コンサートを実施し、音楽芸術に身近に触れる機会の提供と、多摩区の魅力のアピールを行うことができた。 夕涼みコンサート、たま音楽祭は、区民、市民団体、NPO法人、大学生等による実行委員会形式をとり、協働による区民主体の企画運営を行った。たま音楽祭では、音楽を通じた区民のネットワーク構築を目的に、一部出演者の公募を実施し、幅広い音楽性をもったイベントとすることができた。</p>	<p>予算額：3,639,000円 当初予算額： 3,793,000円 (多摩区区制40周年記念事業へ流用： 154,000円) 決算額：3,474,185円</p>
5-3 里地里山の保全活動事業 【地域振興課】	<p>自然の豊かさや大切さを体験してもらうことを目的に、区内の青少年をはじめとした住民に大小様々な森と触れ合う機会を提供するため、生田緑地を中心とした身近にある森で事業を実施する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：自然体験のつどい実行委員会 ■開始時期：平成2年度</p>	<p>実行委員会会議を5回開催。3月10日に生田緑地中央広場で「自然体験のつどい」を開催予定であったが、雨天による悪天候のため中止となった。 実行委員会を構成する関係団体をはじめ多くの団体の協力により、自然と触れあえる体験学習であるネイチャーゲームなどを企画していた。青少年が、自然について自ら調べ学ぶ機会を生み出すとともに、身近な自然を大切に育む気持ちを育むまたとないうちである。</p>	<p>予算額：1,000,000円 決算額：355,181円</p>
5-4 ミニ水族館の維持管理 【地域振興課】	<p>多摩区役所を安らぎと潤いのある環境にし、郷土の多摩川をより身近に感じてもらうため、多摩川に生息する魚類を区役所1階アトリウムに設置した水槽で飼育し、ミニ水族館として来庁する区民向けに展示する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成2年度</p>	<p>水槽展示により、多摩川に生息する生物を紹介し、多摩区のキャッチフレーズである「水と緑と学びのまち多摩区」の象徴である多摩川について、区民に理解と愛着を深めてもらうことができた。また多摩区総合庁舎を温もりと潤いのある環境とし、区民に行政を身近に感じてもらうことができた。 年度当初は水槽1基で展示をしていたが、1階アトリウムのレイアウト変更後においてもスペースが確保できることとなったため、8月から設置台数を2基とした。</p>	<p>予算額：714,000円 当初予算額： 630,000円 (緊急対応経費から 流用：84,000円) 決算額：714,000円</p>

<p>5-5 郷土芸能推進事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>かけがえのない貴重な資源である多摩川を多くの人に親しんでいただき、関心を持ってもらうために、多摩川流域に根付き、伝承されている郷土芸能を一同に集めたフェスティバルへ参加し、流域の観光・商業の振興を図る。実行委員会を構成する自治体として山梨県小菅村、丹波山村、東京都府中市、奥多摩町、狛江市及び川崎市（多摩区）が参画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：多摩川流域住民 ■事業形態：直営 ■実施主体：地域振興課 ■開始時期：平成 21 年度 	<p>12月4日、狛江エコルマホールにおいて「多摩川流域郷土芸能フェスティバル」を開催。参加人数約500人。</p> <p>狛江エコルマホールでのフェスティバルの開催によって、多摩区の伝統芸能である多摩川音頭・梨もぎ音頭を披露することができ、参加者の方々に、かけがえのない貴重な資源である多摩川の郷土芸能に関心を持っていただき、より多摩区に親しみを感じてもらうことができた。また、多摩川流域の観光の振興が図られた。</p>	<p>予算額：100,000円 決算額：100,000円</p>
<p>5-6 多摩区・3大学連携事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>多摩区と区内3大学（専修大学・明治大学・日本女子大学）で構成する「多摩区・3大学連携協議会」（平成17年12月設立）の運営により、大学と地域の交流連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けた取り組みを大学と連携してモデル的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学及び区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：多摩区・3大学連携協議会 ■開始時期：平成18年度 	<p>区と大学が連携した取組として、3大学連携協議会にて協議を行い、専修大学「大地のつくりが学べる学習教材の体験」、明治大学「弁当の日による地域連携活動」、日本女子大学「デジタル地域地図の普及」を実施した。区内の小学校で実習を行うとともに、3月17日に実施した「3大学連携フェア」にて取組を広く区民へ周知した。</p> <p>また10月1日に3大学が連携したコンサートでは、450名程度の来場者数があった。その他、駅伝の応援イベント、インターンシップ（夏季春季の年2回、合計8名）、大学と協力した様々な事業を行った。</p>	<p>予算額：2,257,000円 決算額：2,201,793円</p>
<p>5-7 生田緑地エントランススポット管理運営事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>「生田緑地エントランススポット」（多摩区登戸2708）について、明治大学と協働し、フィールドワークの機会を提供する形で管理を委託して維持補修を実施する。</p> <p>また、高ベンチ（パーテーションタイプ）のパネルを活用して、多摩区や生田緑地に関連するポスター等を展示することにより、多摩区の魅力を発信するほか、生田緑地へ向かう人々が憩うことのできる空間づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：明治大学環境デザイン研究室 ■開始時期：平成17年度 	<p>生田緑地エントランススポットは、生田緑地の活性化やまちづくりの視点から、生田緑地への玄関口として製作・設置されたものであり、当該施設の適切な管理によって、生田緑地への案内や観光客への休憩所としての場を人々に提供することや、当該施設へのポスター等の掲示により多摩区の魅力を発信することができたため、観光推進に大きく貢献できた。</p> <p>また、設置から6年が経過するエントランススポット内のベンチ・植栽などを管理・補修することを目的に実施し、美観の確保及び当該施設の劣化防止につながった。</p>	<p>予算額：168,000円 決算額：168,000円</p>
<p>5-8 多摩区区制40周年記念事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>平成24年4月に区制40周年を迎えるにあたって、区民や大学と連携して周年事業の準備を行う。また実施できるイベントについては、平成23年度から実施していく。イベントを実施することによって、区民にとって多摩区の文化や歴史などを確認するとともに、自分たちの住んでいる多摩区に郷土愛を持ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成23年度（新規事業） 	<p>区内3大学（専修大学・明治大学・日本女子大学）と連携して、大学の知的資源を活用して多摩区の歴史に関わりある講座を開催するとともに、区民から要望の多い大学キャンパスの案内を組み合わせた「3大学知的探訪」を実施した。3大学知的探訪は、明治大学10月15日、専修大学11月12日、日本女子大学12月3日の開催となった。</p> <p>また1月27日には、40周年を記念してNHKラジオ公開番組「上方演芸会」を多摩市民館にて公開収録した。</p>	<p>予算額：786,000円 当初予算額：632,000円 （「音楽のまち・かわさき」多摩区事業から流用：154,000円） 決算額：502,097円</p>
<p>5-9 観光振興・タウンセールス推進事業（局区連携事業）</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>平成23年9月3日の「藤子・F・不二雄ミュージアム」の開館に向けた全市的なキャンペーンの一環として、総合企画局藤子・F・不二雄ミュージアム整備準備室との連携により、地元多摩区でのイベント等の取組みを行っていく。</p> <p>また、生田緑地を核とした地域資源活用・地域活性化事業を展開している経済労働局商業観光課と連携し、地域団体と協働で観光振興事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成23年度（新規事業） 	<p>多摩区の新たな地域資源として9月に開館した「藤子・F・不二雄ミュージアム」について、開館前後を通じて開館を記念したイベントやキャンペーン活動を、区民との協働により実施し、地域の各主体の連携を深めるとともに、地域の盛り上がりにも貢献した。開館前のイベントには1,300人の来場者があった。</p> <p>多摩区の観光ボランティアガイドとして、その育成を図るためのセミナーを実施し、35名が当該セミナーを終了した。さらに、セミナー受講者による「生田緑地紅葉散策」と題したツアーを企画・実施し、地域の観光人材の発掘、育成を行った。</p>	<p>予算額：9,238,000円 決算額：9,234,750円</p>

<p>5-0 二ヶ領用水活用事業（平成 22 年度協働推進事業）</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>二ヶ領用水 400 年記念看板について平成 23 年 3 月に設置予定であったが、東日本大震災の影響で平成 22 年度中の設置が不可能となったため、平成 23 年度に緊急対応経費により対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託、緊急対応事業 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成 22 年度 	<p>平成 22 年度中に実施・完了予定であった「二ヶ領用水竣工 400 年記念事業」の集大成として、記念看板を設置することができた。</p> <p>事業全体を通して、区民の二ヶ領用水への思いを再認識するとともに、今後の二ヶ領用水について、区民と行政がともに考える機会となった。また、この取り組みの中で、参加した市民活動団体や学校などの間で連携が生まれており、二ヶ領用水竣工 400 年を契機として市民活動が盛り上がっていく機会となることができた。</p>	<p>予算額：413,000 円 決算額：412,650 円</p>
---	--	--	--

VI 地域コミュニティ活性化推進事業費

予算額 16,171,000円 (当初予算額 15,135,000円)

決算額 11,857,587円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-1 地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】	平成22年度に行なったアンケート調査の検討を行うとともに、地域コミュニティ活性化を図るための活動内容・制度化について他都市の状況を調査する。その結果を受けて地域コミュニティ活性化に向けた取り組みについて検討する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：地域振興課 ■開始時期：平成20年度	○地域コミュニティ活性化促進委員会 会議を2回開催 ○自治会長・広報担当役員を対象に情報発信に関する講演会(2月6日)を開催 参加者延べ47人 ○ホームページ研修会(3月2日)を実施 参加者延べ39人 アンケートの結果を踏まえ、情報発信に関する知識を深めるための講演会を実施した。 また、各地で地域コミュニティ活性化のためホームページなど、インターネット環境を活用していることから、ホームページ作成研修を実施した。情報発信に関する知識を深めるとともに、若い世代の役員の参加もあり、町内会・自治会の活性化につながった。	予算額：1,277,000円 決算額：892,500円
6-2 多摩まちかど祭開催事業 【地域振興課】	区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催して、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちかど祭実行委員会 ■開始時期：平成3年度	15団体 大人77人、子ども86人が出演。参加者 延べ30,000人。 区民公募により、大人から子どもまで幅広い層の出演者による舞台公演が実施された。伝統芸能やダンス、コーラスなどを披露する場を提供し、文化・芸術の発信をすることができた。また、区民がふれあい憩える場所としても定着し、世代間の交流ができ、地域コミュニティの形成につながった。	予算額：800,000円 決算額：799,995円
6-3 公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業 【企画課】	地域のコミュニティ活性化の一助とするよう、住民と協働で公園を活かしたコミュニティづくりに取り組む。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：企画課 ■開始時期：平成23年度(新規事業)	市民委員を含む「多摩区公園を拠点としたコミュニティづくり検討委員会」を設置し、管理運営協議会や子育てグループを対象にアンケートを実施した。 また、公園を利用している事業について、実地調査やヒアリング調査を実施した。調査結果等を踏まえて、報告書を作成し、その概要版を区ホームページで公開した。	予算額：3,204,000円 決算額：1,939,262円
6-4 まちづくり推進事業 【地域振興課】	区内のまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、多摩区民の自主的活動組織である「多摩区まちづくり協議会」と協働して行う。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■開始時期：平成12年度	○地域の課題抽出とその解決方法について、区内の市民活動団体と意見交換する「たまサロン」の開催 ○市民活動団体の活動・成果の紹介、情報交換ができるまちづくり活動発表会「まちカツ！」の開催 ○市民活動やボランティアに役立つ学びの場として、研修会「多摩★まち大学」を年5回開催 ○具体的な課題解決の取り組みとして3つのプロジェクト活動の実施 中間支援的活動として、意見交換会や活動発表会を通じた地域団体同士の交流や相互支援を進め、またプロジェクト活動においては個々の取組みを進め、一定の成果を残すことができた。	予算額：5,555,000円 決算額：4,966,670円

<p>6-5 市民活動支援事業</p> <p style="text-align: center;">【地域振興課】</p>	<p>多摩区内の市民活動が自主的・自立的に発展していくための「活動の場」として、多摩区役所内に「多摩区民活動支援コーナー」を設置し、多摩区内で非営利の社会貢献活動を行う団体又は個人に対し利用開放する。</p> <p>区役所機能再編の中で、名称を「多摩区民活動・交流センター」と改め、機能の拡充（701 会議室を打ち合わせスペース、印刷・作業スペースとして追加開放）や、「区役所と支所・出張所等窓口サービス機能再編実施方針」に基づく生田出張所内への市民活動支援拠点の新設を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■事業形態：直営 ■実施主体：地域振興課 ■開始時期：平成 13 年度 	<p>区役所機能再編に伴い、従来の区民活動支援コーナーの機能を拡充するとともに、生田出張所内に新たに市民活動支援拠点を新設し、「多摩区民活動・交流センター」として平成 24 年 1 月に供用を開始した。</p> <p>また、市民による自主的かつ自立的な管理運営を実践するため、利用登録団体からなる「多摩区民活動・交流センター運営委員会」を設置し、多摩区民活動・交流センターの管理運営について協議・検討を行うとともに、受付業務等運営の一部を利用団体が担うなど運営体制の変更を行った。</p>	<p>予算額：4,299,000 円 決算額：2,223,860 円</p>
<p>6-0 多摩区区民意識アンケート実施事業</p> <p style="text-align: center;">【企画課】</p>	<p>多摩区民が多摩区について感じていることや、協働の担い手としての区民の活動状況及び地域活動に関する意識などを調査することで、地域の課題を把握し、課題解決に向けた取組の参考にすること、及び区民会議制度の認知度などを調査することで、区民会議の運営や調査審議の参考資料とすることを目的として実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託、緊急対応事業 ■実施主体：企画課 ■開始時期：平成 23 年度（新規事業） 	<p>12 月に、多摩区在住の満 20 歳以上の男女個人 2,000 人を対象に、郵送によりアンケート調査を実施し、3 月に報告書を作成した。（概要版を区ホームページで公開）</p> <p>アンケートを実施したことにより、多摩区民が多摩区について感じていることや地域活動に関する意識、地域の課題を把握することができた。調査結果を受けて、区民会議の調査審議の参考とすることなどにより、区政に反映させていく。</p>	<p>予算額：1,036,000 円 当初予算額：0 円 （緊急対応経費から 流用：1,036,000 円）</p> <p>決算額：1,035,300 円</p>

Ⅶ 区役所サービス向上事業費

予算額 4,913,000円 (当初予算額 3,120,000円)

決算額 2,522,158円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
7-1 窓口サービス改善推進事業 【区民課】	<p>区役所利用者の快適性・利便性の向上をめざして窓口サービス機能再編に伴う「区役所快適化リフォーム事業」と連携した取組を実行する。 窓口職員の意識の向上を図るための研修等を継続的に実施する。 PDCA サイクルに基づき評価・改善し、窓口サービス改善検討会議を活用した実効性のある取組を推進する。</p> <p>■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所区民課 ■開始時期：平成22年度</p>	<p>○区民課証明発行コーナーの案内表示の施工 ○区民課窓口において届出書の受付業務を円滑に行うことが可能なローカウンターへの入替 ○子供連れの来庁者が安心して手続きできる窓口環境整備のための、待合フロアへのキッズコーナーの設置 ○区役所機能再編による変更点を盛り込んだ『多摩区総合庁舎のご案内』の発行</p> <p>上記事業を展開して、区役所快適化リフォーム事業との連携による、区役所機能再編及び、庁舎内アトリウムとエレベーター周辺に設置したサインによる、各課への市民誘導ができた。</p>	<p>予算額：3,253,000円 当初予算額： 1,460,000円 (緊急対応経費から 流用：1,793,000円) 決算額：2,478,058円</p>
7-2 区役所ホームページリニューアル事業 【企画課】	<p>多摩区ホームページは、17年度にリニューアルを行ってから、更新作業を職員が行ってきたが、ページ全体として統一感が欠けてきている。効果的な情報発信を行うため、区役所ホームページのリニューアルを検討する。検討にあたっては、全市的なホームページの改修の状況を見ながらリニューアルの実施を行う。</p> <p>■事業対象：市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成23年度(新規事業)</p>	<p>全市的なホームページリニューアルが平成24年度に予定され、区役所ホームページも全市のリニューアルの一部として行うこととなった。そのため、当初、予定していた今年度の区単独での大規模なリニューアル業務は実施しなかった。 ただし、市税事務所の新設などにあわせて庁内案内図の作成や、区に関連する業務改変やリニューアルに伴う準備に必要な修正は行った。そのほか、年度切り換えに伴う修正や、区役所職員へのホームページ運用研修を実施し、区職員のスキルアップを図った。</p>	<p>予算額：1,660,000円 決算額：44,100円</p>

VIII 地域課題対応事業その他経費 予算額 3,039,000円 (当初予算額 7,478,000円) 決算額 2,878,203円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
8-1 磨けば光る多摩事業 【企画課】	多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置づけた上で、提案者に委託する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、区内で活動する市民活動団体 ■開始時期：平成18年度	次の3事業が選定され、事業実施した。 ①家庭からのてんぷら油の回収事業（3年目事業） ②多摩区公園探検冊子作成事業（2年目事業） ③花・音楽等による協働まちづくり 地域における課題が多様化し複雑化していることから、市民活動団体のノウハウを生かすことにより、各事業について多くの参加者を集め、好評を得ることができた。また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施して評価・検証することにより、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などを明確化することができた。さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働のしくみづくりの推進につながった。	予算額：2,229,000円 決算額：2,126,241円
8-2 緊急対応経費	緊急課題や区民要望に対応すべき事業のための予備費。	「3-0 公立保育所の地域支援推進事業」への流用：116,000円 「5-1 観光振興・タウンセールス推進事業」への流用：997,000円 「5-4 ミニ水族館の維持管理」への流用：84,000円 「5-0 二ヶ領用水活用事業（平成22年度協働推進事業）」への流用：413,000円 「6-0 多摩区区民意識アンケート実施事業」への流用：1,036,000円 「7-1 窓口サービス改善推進事業」への流用：1,793,000円 流用額合計：4,439,000円	調整後予算額：47,000円 当初予算額：4,486,000円 決算額：0円
8-3 共回事務経費	地域課題対応事業費の共回事務経費。	地域課題対応事業で共通に必要な物品（印刷機インク等）を購入した。	予算額：763,000円 決算額：751,962円

I 安全・安心まちづくり事業費	予算額 2,958,000円	決算額 2,806,747円
II 地域福祉・健康づくり事業費	予算額 870,000円	決算額 784,270円
III 総合的こども支援事業費	予算額 12,642,000円	決算額 11,705,471円
	(当初予算額 12,526,000円)	
IV 環境まちづくり事業費	予算額 484,000円	決算額 428,127円
V 地域資源活用事業費	予算額 26,783,000円	決算額 25,630,656円
	(当初予算額 25,289,000円)	
VI 地域コミュニティ活性化推進事業費	予算額 16,171,000円	決算額 11,857,587円
	(当初予算額 15,135,000円)	
VII 区役所サービス向上事業費	予算額 4,913,000円	決算額 2,522,158円
	(当初予算額 3,120,000円)	
VIII 地域課題対応事業その他経費	予算額 3,039,000円	決算額 2,878,203円
	(当初予算額 7,478,000円)	
合計	予算額 67,860,000円	決算額 58,613,219円